令和5年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	12	7.1	9.4	7	1	5
鴨川	新大宮バイパス線下	17	3.8	7.7	16	2	7.9
	加茂川橋	12	4.7	8.0	24	6	12.9
	学校橋	11	4.3	7.7	38	5	13
	中土手橋	11	6.2	7.9	50	5	14.9
	さくら草橋	11	3.6	7.6	28	3	9
鴻沼川	榎引橋	10	3.2	6.2	17	3	8
	霧敷橋	17	8.9	12	10	1	3
	新開橋	11	5.5	8.2	10	1	6
笹目川	市立浦和南高校脇	9.3	3.9	6.9	23	3	9.3
藤右衛門川	柳橋	8.5	5	7.0	31	1	6
芝川	船橋	9	4.9	6.7	12	3	7
	境橋	9.6	5.7	7.0	13	1	6
	大道橋	9.4	4.6	6.5	39	3	13
	八丁橋	11	4.5	6.7	30	4	16
深作川	宮ヶ谷塔橋	11	4.7	7.6	34	9	18
綾瀬川	高野橋	10	5.2	7.1	50	7	14
	戸井橋	12	5.2	7.4	28	6	17
	暇橋	13	5.8	8.8	36	4	17.6
元荒川	城北大橋	11	5.7	8.0	68	5	14
	新曲輪橋	10	5.5	7.7	79	1	15
	永代橋	10	5.6	8.7	82	7	17
古隅田川	城殿宮橋	8.6	4.1	6.4	37	8	19

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質量): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。